

**製品名: Trk C ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19287**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	95kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NTRK3
別名	NTRK3; TRKC; NT-3 growth factor receptor; GP145-TrkC; Trk-C; Neurotrophic tyrosine kinase receptor type 3; TrkC tyrosine kinase
遺伝子 ID	4916.0
SwissProt ID	Q16288
免疫原	抗血清はヒト NTRK3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

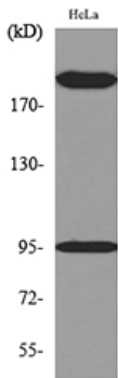
**背景**

この遺伝子は、神経栄養性チロシン受容体キナーゼ (NTRK) ファミリーのメンバーをコードしています。このキナーゼは膜結合型受容体であり、神経栄養因子が結合すると、自身および MAPK 経路のメンバーをリン酸化します。このキナーゼを介したシグナル伝達は細胞分化を促し、体位を感知する固有受容ニューロンの発達に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、髄芽腫、分泌性乳がん、その他のがんに関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2011年7月],代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです,触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸,機能: 神経栄養因子3 (NT-3) の受容体。これはチロシンタンパク質キナーゼ受容体です。trk 受容体の既知の基質は、SHC1、PI-3 キナーゼ、および PLCG1 です。異なるアイソフォームは、同一のシグナル伝達特性を持ちません。、PTM: リガンドを介した自己リン酸化。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。インスリン受容体サブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性: 2つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、類似性: 2つのLRR(ロイシンリッチ)リピートを含みます。、サブユニット: 単量体(低親和性)と二量体(高親和性)構造の間の動的平衡状態にあります。SH2B2に結合します。SQSTM1およびKIDINS220と相互作用します。、組織特異性: 広く発現していますが、主に神経組織に発現しています。アイソフォームBは胎児の脳よりも成人の脳で高いレベルで発現しています。

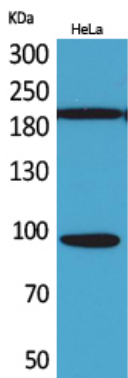
## 研究分野

神経栄養因子;

## 画像データ



NTRK3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



Trk C ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。